

## 第1回 武雄市行政改革市民会議 会議結果

日 時 平成18年9月6日(水)

14:00~15:30

場 所 武雄市役所 3階会議室

### 1 開会<前田企画部長>

### 2 委嘱状交付(市長:全委員に対し委嘱状交付) 欠席:1名

### 3 市長あいさつ

合併を機に、更なる行政改革の推進を目指して、新武雄市改革・緊急改革プランを策定し、徹底した経費の削減や大幅な事業の見直しを行いたいと考えている。委員の皆様には、新たな事業等の要望ではなく、経費の削減の観点からの意見ををお願いしたい。

この市民会議は、武雄市における行財政運営の健全化、効率化その他行財政の推進について、広く市民の意見を反映した実効ある行政改革を推進するため設置するものである。

委員の皆様の忌憚のない意見をお願いします。

### 4 市民会議委員及び事務局自己紹介

### 5 会長及び副会長の選任について (事務局一任)

会 長【 原 隆 司 <武雄商工会議所副会長> 】

副会長【 田 代 弘 <山内商工会会長> 】

【 中 村 房 子 <北方町商工会女性部副部長> 】

### 6 協議事項

#### (1) 武雄市行政改革の推進について (事務局説明)

武雄市行政改革推進体制について(市民会議・本部会議・幹事会) <P 1~3>

これまでの行政改革推進実績について <P 4>

#### (2) 新武雄市の現状について (事務局説明)

財政状況について <P 5~10>

職員の状況について <P 11~13>

行政機構について <P 14~15>

#### (3) 新武雄市行政改革緊急改革プラン(案)について(事務局説明)

基本方針について <P 16>

具体化方策・体系について <P 17~18>

今後のスケジュールについて <P 19>

#### (4) 資料説明 (事務局説明)

#### (5) 意見交換

別 紙

### 7 今後の対応について

#### (1) 次回の検討事項

- ・ 具体化方策に基づく主な実施項目について
- ・ 庁舎の有効活用案について 等

(2) 今後の開催予定 ~ 今後調整 ~

(3) 行政改革市民会議委員意見票の提出について  
新たな資料等の請求 9月15日(金)までに

<別紙>

**質疑・意見交換等**

企業においては、財産目録(バランスシート)が作成されている。武雄市では作成されているのか。今後、整理作成していくのか。市民は財産の状況がわからないのでバランスシートの作成は必要と考える。

<事務局> : 企業会計では作成しているが、一般会計においては作成していない。  
一般会計においても以前作成した経過はあるが、企業と違い活用することができなかった。現在、ほとんどの自治体では作成されていないのではないかと。財産関係資料については、財産や基金の状況を示した決算資料を提示したい。

合併時の申し合わせ事項を提示していただきたい。水道料金の内容については提示してあるが、固定資産税関係が提示されていない。合併時の協定書の内容や市長具約の内容を示してもらいたい。  
<合併協定項目協議内容概要版配布>

資料P12の年齢別職員数に驚いている。19歳から21歳までがゼロで、22歳から24歳までの各1~2名の現状となっている。人件費削減で採用がなかったものと思うが、市民としては若い方が少ないことに不安を感じる。

また、投資的経費がこんなに少なくなっているのかと感じた。学校の設備等についても、市の予算がないということを先生方からよく聞く。育友会で資金作りを行ったこともある。本来は、市役所が対応することではないかと思うことがある。

個人的には、市民プール(屋内プール)とかができないのかと素朴に感じる。

登窯(飛龍窯)は終わったというふうに聞いていたが、新聞によると3,500万円の予算をつけて再開するというようなのだが、そういうことはどこで決まっているのか。

市民からすれば、財政が厳しい状況の中で終了したものと理解している方が多いのではないかと。どうして、また、再開するのか聞きたい。

<事務局> : まだ、決まってははいない。議会に予算案を提案することを決めた段階であり、今後、議会で決定されることになる。

昨年の庁内会議においては、登窯が10年を経過し老朽化が進んでいたため、その後は活用せず、小さな窯を新たに造るか検討していた。しかし、小さい窯でも費用はかかることになる。

今回、宝くじから2200万円の補助を受けられることになり、小さい窯を造るか、大きな窯の改修を行うか検討協議を進めた結果、歴史的な観点などから新しい窯を造ることで決定し、議会に提案することになった。

議員定数についても資料の中に提示してある。合併したばかりで、現在、山内で6名、北方で4名の状況であり、あんまり減らすとバランス上の問題もあるのではないかと。ただ、30名というのはいかがと思う。

今回の市民会議の議論の焦点をどこに置くのか。財政を中心とした経常収支の改善に向けた議論なのか。行政改革に向けた具体的方策に関してなのか。今後の削減効果に関する数値目標のあり方についてなのか。

旧市町から委員の方が選任されており、合併に伴う利害関係や今後の合意形成についてもしっ

かり諮るべきとも思う。あるいは、組織の見直しや既存施設の整理に関してなのか。何を目指していくのか、焦点を絞っていただきたい。

今後の推進における数値目標の設定については、国からの指針が示されているが、地方分権の時代であり重要事項とは思わない。

<事務局> : 旧武雄市では、平成7年から行政改革に取り組んでいるが、今回の緊急改革プランの最大の課題は、P16に提案しているように、合併した効果を今後どのように活用していくかが最大のポイントとして案を示しているものである。  
また、財政上も歳入が減少し、歳入については扶助費などの義務的経費が確実に伸びていく中で、今後、どのような財政運営を行っていくかも課題である。こうしたことから、市民参加・協働のまちづくりの推進について提案しているものである。  
焦点を一つに絞ることは難しく、事務局としては、「合併効果」と「協働のまちづくり推進」の二つの柱を考えおり、どちらかということ、「合併効果をどう活かすか」という観点を中心に議論をお願いしたい。

資料では、人件費や公債費などトータルの歳入の数値が示されているが、子どもたちの安全に係る経費やごみ処理経費など具体的な数値がどうなっているのかわからないし、意見も出しにくい。

民生費や衛生費などの個々の分野でどういう経費が使われているのか具体的な事業経費を提示してもらいたい。小さい部分の経費が見えてくると意見が出てくるのではないかと。

<事務局> : 次回の会議前までに、増加傾向にある扶助費（児童手当・高齢者福祉費）など議論ができる資料を作成次第配布したい。

民間委託の導入に関して、どういう業務があるのかわからない、また、公の施設の場所についても把握していない状況である。資料の提示をお願いしたい。

<事務局> : 民間の出番がありえそうな施設・場所や項目についても事前に提出していきたい。

4C運動の内容について聞きたい。

<事務局> : 4つのC <crush:打破 change:変革 creation:創造 check:点検・評価> を全職員が意識し行政改革に取り組むこととしていたものである。現在、あまり浸透していないのではないかと。

<事務局>

今回は、資料請求（行政改革市民会議委員意見票による請求を含め。）があった事項を事前に配布するとともに、現在、庁内幹事会で検討を進めている具体化方策に基づく主な実施項目内容について提示し、ご意見をお願いしたい。